



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス  
 コード番号 3635 URL <http://www.koeitecmo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 襟川 陽一  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 TEL 045-562-8111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	24,199	7.3	3,499	△11.1	7,972	△16.2	5,987	△12.3
28年3月期第3四半期	22,542	△6.4	3,937	△19.0	9,517	3.9	6,830	4.6

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 7,861百万円(325.6%) 28年3月期第3四半期 1,847百万円(△83.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	56.91	56.75
28年3月期第3四半期	64.99	64.76

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	108,484	101,318	93.2	959.80
28年3月期	110,925	98,706	88.8	936.70

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 101,061百万円 28年3月期 98,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	52.00	52.00
29年3月期	-	0.00	-		
29年3月期(予想)				53.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	9.6	11,500	3.9	16,000	1.6	11,000	1.3	104.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－ 除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	107,723,374株	28年3月期	107,723,374株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	2,428,715株	28年3月期	2,543,822株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	105,207,233株	28年3月期3Q	105,102,594株

※平成27年10月1日付で、1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調が続いております。

ゲーム業界におきましては、2016年の国内家庭用ゲーム市場は前年を下回りましたが、11月に新型「PlayStation 4」、「PlayStation 4 Pro」が発売されたほか、2017年3月には任天堂株式会社より新型ゲーム機「Nintendo Switch」の発売が予定されるなど、家庭用ゲーム市場は明るい兆しが見え始めております。またコンテンツのデジタル販売やスマートフォンゲーム市場は引き続きワールドワイドで拡大傾向にあり、ゲーム市場全体としては今後も成長が期待されております。

このような経営環境下において、当社では経営方針「IPの創造と展開」のもと、各種施策に取り組んでおります。ブランドとIPを経営の主軸に据え、5つのブランド別の組織体制へ移行し、各ブランドの特徴を活かした「IPの創造と展開」を積極的に推進し、グループ全体の企業価値向上に取り組んでおります。当第3四半期では、ゲームプロデューサー「シブサワ・コウ」が初めて手がけた『川中島の合戦』の発売から35年を迎え、「シブサワ・コウ35周年記念キャンペーン」を開始いたしました。『信長の野望』や『三國志』などこれまでにプロデュースしたタイトルを『シブサワ・コウ アーカイブス』としてSteamにて配信し、ブランド価値の向上に取り組んでおります。なお、更なる品質向上を図るため複数のタイトルの発売時期を延期し、第4四半期以降に発売を予定しているタイトルの開発費が先行して発生いたしました。これらにより、当社グループの当第3四半期業績は、売上高241億99百万円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益34億99百万円（同11.1%減）、経常利益79億72百万円（同16.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益59億87百万円（同12.3%減）となりました。

事業の種類別セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

**エンタテインメント事業 売上高 211億20百万円 セグメント利益 27億13百万円**

「シブサワ・コウ」ブランドでは、『信長の野望・創造 戦国立志伝』（PS4、Steam用）を欧米にて発売したほか、12月には最大100人でのリアルタイム合戦が楽しめるスマートフォンゲーム『信長の野望 ～俺たちの戦国～』をサービスインいたしました。「100万人シリーズ」や『Winning Post スタリオン』などのスマートフォンゲームも引き続き堅調に推移しております。10月にはネクソン・コリア・コーポレーションより、当社IPをベースに開発された『三國志曹操伝 Online』が韓国にて配信開始され、セールスランキングにおいてGoogle Playで5位、App Storeで6位（出典：App Annie）に入るなど好調となっております。

「ω-Force」ブランドでは、全世界でシリーズ累計発行部数4,000万部を超えるダークファンタジーコミックを原作としたアクションゲーム『ベルセルク無双』（PS4、PS3、PS Vita用）を10月に発売し、11月には大河ドラマでも人気となった真田幸村の生涯を描いたアクションゲーム『戦国無双 ～真田丸～』（PS4、PS3、PS Vita用）をリリースいたしました。

「Team NINJA」ブランドでは『DEAD OR ALIVE 5 Last Round』（PS4、PS3、Xbox One、Steam用）の基本無料版ダウンロード数が伸長し、有料コンテンツも順調な販売を継続しております。2017年2月に全世界で発売を予定している『仁王』（PS4用）では、株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの協力のもとグローバル戦略タイトルとして、世界中のお客様への拡販に取り組んでまいります。

「ガスト」ブランドでは、11月に「アトリエ」シリーズ最新作の『フィリスのアトリエ～不思議な旅の錬金術士～』（PS4、PS Vita用）を発売いたしました。12月に開催された「コミックマーケット91」や通販サイト「ガストショップ」での関連グッズが好調な販売となりました。

「ルビーパーティー」ブランドでは12月に『遙かなる時空の中で6 幻燈ロンド』（PS Vita用）をリリースいたしました。「下天の華 with 夢灯り 愛蔵版 発売記念ディナーパーティー」や立体映像表現を用いたバーチャルライブなど、合計4つのイベントを開催いたしました。

**SP事業 売上高 15億40百万円 セグメント利益 5億79百万円**

パチンコ機『ぱちんこCR真・北斗無双219Ver.』がリリースされました。パチンコ・パチスロ機への液晶ソフト受託開発業務は順調に進捗し、増収増益となりました。

**アミューズメント施設運営事業 売上高 9億40百万円 セグメント利益 76百万円**

大型プライズゲーム機導入などの店舗施策が奏功し、既存店売上は好調に推移いたしました。

**不動産事業 売上高 5億93百万円 セグメント利益 2億49百万円**

当社グループが保有する賃貸用不動産が引き続き高い稼働率を維持しております。

**その他事業 売上高 2億56百万円 セグメント利益 1億88百万円**

ベンチャーキャピタル事業にて保有株式の売却益が発生いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して24億40百万円減少し1,084億84百万円となりました。これは主に、売掛金が67億18百万円減少した一方で、投資有価証券が35億5百万円、現金及び預金が22億46百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して50億53百万円減少し71億66百万円となりました。これは主に、未払法人税等が20億50百万円、買掛金が16億72百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して26億12百万円増加し1,013億18百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が29億81百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月28日に公表した通期の連結業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,258	14,505
受取手形及び売掛金	10,962	4,243
有価証券	745	2,490
商品及び製品	156	82
仕掛品	47	45
原材料及び貯蔵品	42	66
繰延税金資産	791	628
その他	2,445	1,713
貸倒引当金	△20	△19
流動資産合計	27,430	23,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,029	11,021
その他（純額）	6,826	6,730
有形固定資産合計	18,856	17,751
無形固定資産		
のれん	290	—
その他	141	198
無形固定資産合計	432	198
投資その他の資産		
投資有価証券	62,120	65,626
繰延税金資産	1,301	319
その他	785	832
投資その他の資産合計	64,207	66,778
固定資産合計	83,495	84,728
資産合計	110,925	108,484

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,243	570
未払金	1,234	1,100
未払法人税等	2,900	849
賞与引当金	1,007	528
役員賞与引当金	234	142
返品調整引当金	9	3
売上値引引当金	240	232
ポイント引当金	19	20
繰延税金負債	0	—
その他	2,695	1,686
流動負債合計	10,584	5,134
固定負債		
退職給付に係る負債	380	269
繰延税金負債	526	880
その他	728	882
固定負債合計	1,634	2,031
負債合計	12,219	7,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	25,699	25,699
利益剰余金	60,003	60,598
自己株式	△1,657	△1,585
株主資本合計	99,045	99,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,009	3,990
土地再評価差額金	△3,115	△3,115
為替換算調整勘定	1,636	536
退職給付に係る調整累計額	△54	△62
その他の包括利益累計額合計	△523	1,349
新株予約権	184	257
純資産合計	98,706	101,318
負債純資産合計	110,925	108,484

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	22,542	24,199
売上原価	13,158	14,933
売上総利益	9,384	9,265
販売費及び一般管理費	5,447	5,765
営業利益	3,937	3,499
営業外収益		
受取利息	1,177	1,316
受取配当金	3,137	1,143
投資有価証券売却益	1,388	2,239
その他	760	301
営業外収益合計	6,463	5,001
営業外費用		
投資有価証券評価損	607	196
投資有価証券売却損	24	221
その他	251	110
営業外費用合計	883	528
経常利益	9,517	7,972
税金等調整前四半期純利益	9,517	7,972
法人税、住民税及び事業税	2,148	1,795
法人税等調整額	538	189
法人税等合計	2,687	1,984
四半期純利益	6,830	5,987
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,830	5,987



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	6,830	5,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,758	2,981
為替換算調整勘定	△196	△1,099
退職給付に係る調整額	△27	△7
その他の包括利益合計	△4,982	1,873
四半期包括利益	1,847	7,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,847	7,861

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	エンタテインメント	S P	アミューズメント 施設運営	不動産	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	19,725	1,213	958	628	22,526	16	22,542
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	145	1	—	—	147	78	225
計	19,871	1,214	958	628	22,673	95	22,768
セグメント利益	3,544	468	56	245	4,314	24	4,338

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,314
「その他」の区分の利益	24
のれんの償却額	△290
営業外損益への振替高	△110
四半期連結損益計算書の営業利益	3,937

(注) のれん及び資産については、セグメントごとの配分は行っていません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他	合計
	エンタテインメント	S P	アミューズメント 施設運営	不動産	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	20,943	1,539	940	593	24,016	182	24,199
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	177	1	—	—	178	74	252
計	21,120	1,540	940	593	24,194	256	24,451
セグメント利益	2,713	579	76	249	3,619	188	3,808

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,619
「その他」の区分の利益	188
のれんの償却額	△290
営業外損益への振替高	△18
四半期連結損益計算書の営業利益	3,499

（注）のれん及び資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成28年4月1日付にてブランドとIPを経営の軸に据え、ブランドとIPの価値を最大化しグループ全体の企業価値を一層高めるため、組織体制の変更を実施いたしました。この組織変更に伴い、従来「ゲームソフト事業」、「オンライン・モバイル事業」、「メディア・ライツ事業」、「S P事業」、「アミューズメント施設運営事業」、「不動産事業」としていた報告セグメントの区分を、第1四半期連結会計期間より「エンタテインメント事業」、「S P事業」、「アミューズメント施設運営事業」、「不動産事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。